

柳川地域の観光振興構想

～ 創蓄省エネを活用した、人・ものが交流する活力ある観光都市づくり ～

代表提案者	西鉄情報システム株式会社
協同提案者	日本ヒューレット・パッカード株式会社、ニシム電子工業株式会社、株式会社ケー・シー・エス

観光都市として名高い柳川市ではあるが、観光客は平成4年をピークに伸び悩み。移動手段の充実、観光スポットの「見せ方」の工夫等が課題となる。また、街のシンボルである掘割周辺の環境対策も喫緊の課題。そこで、本構想では、柳川のもつ地域ポテンシャルを生かしながら **I. 次世代公共交通による観光振興**、**II. 掘割汚泥等を活用したバイオマスエネルギー化**の2つのプロジェクトを推進し「人・ものが交流する活力ある観光都市柳川の再興」を目指すものである。

I. 次世代公共交通による観光振興プロジェクト

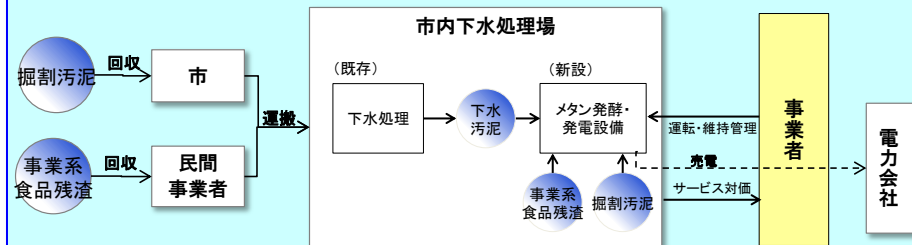
水域と陸域の両方から「じっくり・ゆっくり」、「気楽に・自由に」観光客のニーズに合わせたクリーンな交通手段を選択することができる『柳川独自の観光スタイル』を確立



- ・EV、超小型モビリティによるカーシェアリングの実施
- ・観光スポットをつなぐ低速電動バスの導入
- ・水上交通、遊覧船の回収船としてのソーラーボートの導入
- ・照明、街路灯、新規施設（新設する文化会館）への太陽光発電の導入
- ・上記、各実施メニューの電源、地域の公共用、非常用電源（街路灯等）としての潮汐発電の導入

II. 掘割汚泥等を活用したバイオマスエネルギー化プロジェクト

掘割汚泥を資源として有効活用



- ・既存の市内下水処理場にて、掘割汚泥を他のバイオマス（下水汚泥、事業系厨芥類）と併せて混合消化。得られるメタンガスにより発電。国の固定価格買取制度により売電していく。
- ・官民がバイオマス原料収集を分担して行い、プラント建設や運用は民間事業者へ委託するPFI事業を想定。